

**新宿区議会公明党を代表
しての締めくくりの質疑**

①新宿区政の目指すべき次の課題、ビジョン

Qハイレベルな福祉を維持してきた新宿。福祉のトップランナーである新宿区が目指すべき次の政策課題は何か?
A 区民と共に手をたずさえて、パートナーシップを創って、施策の幅をひろげて、地域づくり、まちづくりを目指す。
Q文化は、一人ひとりの市民を柔らかな絆で結び、同時に都市を安定させ、そこに生きる人々を連帯させていく。東京をリードする新宿こそ今後、文化、教育に重点をおく施策にベクトルをあわせていくべきと考えるか?
A 今年度の予算も、少子高齢社会(への対応)ということで、高齢者施策、子育て施策、教育とそれぞれ充実

を図ってきた。財政の制約がある中で創意工夫し、効率的な事業を展開していきたい。

②総合的学習における学校図書館の役割

Q本来の学校図書館のあり方、位置付けは?
A一つは、読書に親しみ、人間性を豊かにする場所。もう一つは、調べ学習など資料のある場所。
Q(総合的学習への)移行期間中であった昨年度から今年度にかけて見えてきた、総合的学習の実施における問題点は?
A時間割の組み方がむずかしい。全クラス一斉に実施すると活動場所に制約がある。講師の手はずがなかなか整わない。
Q4月から総合的学習が本格的にスタートして、調べ学習のために学校図書館の役

割もさらに高まる。現状は、相当古い蔵書もあり、早急に全学校図書館を総点検したらどうか?

A 新年度からは、学校図書館整理員も配置し、役に立つ学校図書館に早急に整備していく。また、区立図書館とも連携していく。

③国際理解教育に英語活動を導入するねらい

Q国際理解教育に、なぜ英語活動なのか?
A日本人として国際的に通用する能力を育てる、つまり異文化の人々の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を論理的かつ説得的に表現できる(ようにする)ため。
Qこの学習のねらいがPTAに十分に理解されていない。さらに周知の努力を。
*他に、このたび新しく設置される「危機管理室」について質問。

活 動 記 録

区民相談70件(2002・1・1~4・25)
累計770件(1999・4・25~2002・4・25)

1月

- 4日 2002年新春街頭演説会
- 5日 新年名刺交換会、新宿区医師会新年祝賀の会
- 8日 新宿区障害者団体連絡協議会新年会
- 9日 福祉・衛生委員会、新宿三歯科医師会新年賀詞交歓会
- 10日 公明党東京都本部新春賀詞交歓会
- 12日 新宿消防団始式、新宿総支部街頭演説
- 13日 共栄会総会
- 14日 はたちのつどい
- 15日 治水・防災特別委員会
- 17日 福祉・衛生委員会(東五軒町児童館ほか8カ所)
- 18日 新宿消防関係団体新年賀詞交歓会
- 21日 グループひまわり新年会、落合第一地区青少年育成委員会新年懇談会
- 22日 哲学堂商栄会新年会
- 26日 上落合三丁目町会新年会、オリエンタル通商店会新年会
- 27日 成人を祝う会と新年のつどい、新宿区防災講演会、東部町会新年会、中井商工会新年会
- 28日 東理同組新宿支部新年会
- 30日 ごみ減量・リサイクル功労者表彰式

2月

- 03日 成人を祝う会並びに新年会
- 10~11日「本の学校」視察
- 13日 福祉・衛生委員会
- 14日 千代田区「昌平童夢館」視察、「新宿区地場産業展」

- 19日 治水・防災特別委員会、親子ふれあいフォーラム「絵本と出会う」
- 21日 全員協議会
- 22日 本会議スタート
- 24日 中落合一丁目町会もちつき大会
- 27日 本会議
- 28日 本会議、予算特別委員会

3月

- 1~14日 予算特別委員会
- 9日 落合第一地域センターまつり
- 15日 新宿区成立55周年記念式典
- 16日 中井東公園開園式
- 18日 福祉・衛生委員会
- 19日 福祉・衛生委員会
- 20日 落合第二中学校卒業式、治水・防災特別委員会
- 22日 リサイクル清掃審議会
- 25日 落合第二小学校卒業式、(社)新宿区シルバー人材センター定期総会
- 26日 予算特別委員会、本会議
- 27日 党支部責会
- 28日 社会福祉事業団評議員会
- 29日 全員協議会、本会議
- 31日 クリーン大作戦(中落合一丁目町会)

4月

- 8日 落合第二小学校入学式
- 9日 落合第二中学校入学式
- 10日 福祉・衛生委員会
- 12日 定例特別区研究会(グループホームについて)
- 16日 治水・防災特別委員会

新宿区議会公明党ニュース

あかば通信

No.10



発行 新宿区議会公明党 赤羽つや子 発行日 2002.6.6
〒161-0032 東京都新宿区中落合1-21-3
TEL&FAX 03-3366-0164
<Eメール> akaba@m1.enjoynet.ne.jp

**新宿区の平成14年度(2003年度)の
予算が決まりました!**

号外でもお伝えした通り、新宿区議会第1回定例会が2月22日から3月26日まで開かれ、その中で行われた予算特別委員会で新宿区の平成14年度の予算が決まりました。あかばは初めて予算特別委員となり、26項目にわたる質疑と、公明党を代表した締めくくりの質疑をしました。皆さんの声を代弁して行った質疑の内容をお伝えします。(*発言内容は要旨)



総務費

①私立幼稚園の保護者に対する補助金

Q区立の3年保育の幼稚園に

入園できず、私立の幼稚園に子どもを入れた家庭では、子どもが2人目となると生活をかなり圧迫する。3歳から幼児教育を受けさせてくても、経済的事情で2年

間の幼稚園生活で我慢している家庭も見受けられる。さらに平成10年度と比べると、私立の幼稚園児童数は217名も減っている。補助金の対象者である保護者の所得制限も含めて、現状をどう捉えているのか?
A こういう経済状況の中で子どもを育てるのは大変なことだが、来年度も一定の所得制限はやむをえない。
Q 子育て支援という面から見ると、保育園や区立幼稚園の保護者に比べて、私立の幼稚園児を抱えている保護者の経済的負担が極端に重い。そのことについては?
A 公立と私立の幼稚園のバランスも含めて、今後の検討課題だと思う。

**心に残った
1冊**

「プリンス近衛殺人事件」

—— V.A.アルハンゲリスキー、瀧澤一郎訳(新潮社)

ミステリー小説とも思われる題名だが、本書では、戦後シベリアに氷雪の原爆が2個落ちたに等しい、おびただしい日本人抑留者の死者が出たと記している。私がこれまで学んできた史実との違いに大変驚き、過去の歴史認識についてのギャップは韓国や中国のアジア諸国間の問題だけではなく痛感した。日本人として、情緒的に判断するくせから脱却して、事実をまず認識するべきであると、思わず考えさせられた。



編集後記

●今回初めて予算委員となって、最も大事な予算審議に参加しました。ほぼ全款(項目のこと)にわたり、皆さんから寄せられたご意見、ご要望について質問しました。数字や行政の資料だと分かりにくい区政のようすも、私の質問と区からの答弁を通じて、それぞれの
方々が、身近に感じられる項目があると思います。区民の皆さんの声で区政を大きく動かすことができる、これが私の予算審議を通じての感想です。
これからも、たくさんのご意見、お考えを是非お寄せ下さい(あかば)。



*次号は8月発行の予定です。

②人事管理費

Q平成12年10月に新宿区人材育成基本方針が発表されたが、この中に「人を育てる研修を再構築する」という項目で、さまざまな視点での研修が提示されている。本年度の区研修の内容は、昨年と比較してどう変わったのか?

A係長研修を、宿泊研修とした。IT講習も各人の能力に応じて充実させている。

Q研修にあたって、職員1人当たり、どのくらいのコストをかけているか?

A1人当たり4000円。

Q地方分権の時代にあって、他の先進的な自治体を視察するチャンスはあるか?

A平成9年から行政視察が中止された。近隣であれば、調査は可能。

Q職員は区の財産。行政視察など、「学ぶ」ための予算の確保も必要ではないかと思う。

③青少年育成費

Q学校週5日制にむけて、区がもっと主導して、青少年

育成委員会を地域の教育力の柱とするべきと思うが? A地域の担い手として頼りにしている。区として今後も協力を求めている。

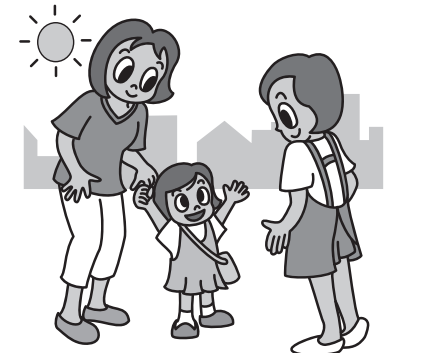
④防災費

Q平成12年度新宿行政監査結果報告書を見ると、避難所の倉庫別の備蓄物資の在庫不一致状況はかなり厳しい。不足の物資分を補充するのに、14年度予算でまかなえるのか?

A監査を受けた段階で、総務部の84人で全倉庫の棚卸、整備を完了。備蓄物資もすべて配備した。

Q避難所である学校の倉庫の問題だが、49カ所のうち17カ所が3、4階にある。どれくらい改善されたか?

A天神小と戸塚一小は階下に移動した。



区民費

①地域センターの開設

Q落合第二地域センターの開設にあたり、最も少ない財源で開設する方法は?

A土地は現在の区有財産を利用する。更地であれば、なお良い。

Q一つの考えとして、現在の「西落合ことぶき館・児童館」を建て直して開設してはどうか。隣地には「あかね児童遊園」もあり、地域センターには適切な用地だと思うが?

A一つの選択肢と考えたい。

Q落合第二地域センターの開設は、区の施策としては、どのくらいの優先順位にあるのか。区が進めている後期基本計画(平成15年~19年)の中ではどう位置づけられているか?

Aモデル事業として、介護保険のキイパーソン(一番の骨格をなすもの)である居宅介護支援事業者からスタートする。

Q介護保険のさまざまな苦情を受けていた利用者支援係が担当と聞いた。今後の評価制度のあり方として、本来は第三者である民間のシンクタンク、NPO、調査会社などが担うべきと考えるが?

A評価を行う機関のあり方に、さまざまな議論がある。国、都で評価システムが整備されていないため、区が先駆けてモデル事業として行う。今後は評価機関が競い合い、

②区民管理費

Q日本人と結婚した外国人配偶者の住民票記載について。昨今、総務省から、本人の申し出があった場合は、住民票の備考欄に外国人配偶者の氏名を記載するよう全国の自治体に徹底されたと聞いた。新宿区の現状は?

A通達以前から、的確に記載していた。

Qこの件に関しては、どういう形で周知しているのか?

A職員対応の通知はした。区民には周知していないので、

今後11カ所の窓口で広く知らせて、トラブルのないように進めていく。

福祉費

①サービス評価事業

Q都内の他の地域に先駆けて、介護保険のサービス評価事業を実施することは高く評価する。契約者である区民がより安心でき、満足な介護を受けるための選択ができる情報の確保は大変重要である。一方、事業者も評価を受けることによって、緊張感が生まれサービス向上への企業努力をし続ける。サービス評価事業は、すべてのサービスに適應されるべきものと思うが、居宅介護支援事業者から始める理由は何か?

A毎月、250名ずつ増加している。14年度中もしばらくはこのペースが続くと思われる。1割負担という低廉な利用料でサービスが受けられることが、周知されてきたと認識している。

Q痴呆などによる意思や判断能力の低下によって適正な契約ができない人に対する支援制度(成年後見制度、地域福祉権利擁護事業)が、十分に機能していない。制度の周知のためにも民生委員に対して研修等を持つべきと思うが?

A成年後見制度を導入したときに研修を行ったが、再度実施する。

②高齢者福祉費

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

Q美化推進重点地区(新宿駅東口・西口、高田馬場駅周辺)は、どの程度クリーンアップされたか。また、重点地区をさらに拡大する予定は?

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」は、今まで区が実施してきたものより一歩踏み込んだものだが、推進する予定は?

A現在も育児グループで絵本を使っているが、今後も充実させていきたい。

*他に、かかりつけ歯科医機能の推進について質問。

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

Q美化推進重点地区(新宿駅東口・西口、高田馬場駅周辺)は、どの程度クリーンアップされたか。また、重点地区をさらに拡大する予定は?

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

Q美化推進重点地区(新宿駅東口・西口、高田馬場駅周辺)は、どの程度クリーンアップされたか。また、重点地区をさらに拡大する予定は?

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

Q美化推進重点地区(新宿駅東口・西口、高田馬場駅周辺)は、どの程度クリーンアップされたか。また、重点地区をさらに拡大する予定は?

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

Q美化推進重点地区(新宿駅東口・西口、高田馬場駅周辺)は、どの程度クリーンアップされたか。また、重点地区をさらに拡大する予定は?

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

Q美化推進重点地区(新宿駅東口・西口、高田馬場駅周辺)は、どの程度クリーンアップされたか。また、重点地区をさらに拡大する予定は?

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

Q美化推進重点地区(新宿駅東口・西口、高田馬場駅周辺)は、どの程度クリーンアップされたか。また、重点地区をさらに拡大する予定は?

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

Q美化推進重点地区(新宿駅東口・西口、高田馬場駅周辺)は、どの程度クリーンアップされたか。また、重点地区をさらに拡大する予定は?

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

きいという特性があり、周りに友人がなく孤独な中で子育てをしている印象がある。区としては、検診などを通して相談に応じたり育児グループを紹介するなどの支援をしている。

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」は、今まで区が実施してきたものより一歩踏み込んだものだが、推進する予定は?

A現在も育児グループで絵本を使っているが、今後も充実させていきたい。

*他に、かかりつけ歯科医機能の推進について質問。

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

Q美化推進重点地区(新宿駅東口・西口、高田馬場駅周辺)は、どの程度クリーンアップされたか。また、重点地区をさらに拡大する予定は?

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

Q美化推進重点地区(新宿駅東口・西口、高田馬場駅周辺)は、どの程度クリーンアップされたか。また、重点地区をさらに拡大する予定は?

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

Q美化推進重点地区(新宿駅東口・西口、高田馬場駅周辺)は、どの程度クリーンアップされたか。また、重点地区をさらに拡大する予定は?

Q「絵本と出会う・親子ふれあい事業」のモデル事業が全国でスタートしており、さまざまな反響がある。区としてこの事業を理解、認識しているか?

A罰則も刑法上のもの。現実には、刑罰を受けた人はいない。

定は? A以前よりは良くなった。重点地区を拡大するより、区内全域に行いたい(クリーンにしていきたい)。

Q中落合1丁目みどり町会では2~3カ月に1回、クリーン作戦ということで、大人と子どもが一緒になって吸殻などのゴミを拾っている。中井駅周辺については、吸殻や空き缶が減っており、着実に効果が上がっている。このことについて見解は?

A熱意ある個人、地域の皆さんのおかげで、この美化運動も少しずつ、少しずつ前進している。今後もこのような方々を支援していきたい。

*他に、リサイクルの推進について質問。

Qこの講座のねらいとは? A一つは、学校におけるこころの教育を充実させていくこと。もう一つは、道徳の教育を地域の方々に公開して、地域や保護者の考えを参考にしていくこと。

Q昨年の実施状況を見ると、かなり学校格差があると思われる。この授業に対する周知の方法、当日の地域の方の参加人数、公開授業後に行われる懇談会の持ち方など、現状(の課題)をどう把握し、来年度に生かすのか?

A来年度は、すべての学級で行われるように指導していく。次回に向けては可能な限り保護者や多くの地域の方々に案内をしていくよう、学校に指導していく。

*他に、教育基盤整備、学校図書館整理員の派遣、「相対評価」から「絶対評価」に変わる評価制度、家庭教育の振興について質問。

った街区単位で9月頃から意見や要望を聞く。

Q一定の基準やルールはあるのか?

A都で「土地利用に関する基本方針」を策定し、その後指定基準が決まる。

*他に、中井駅周辺整備、バリアフリー基本構想の推進について質問。

教育費

①道徳授業地区公開講座

Qこの講座のねらいとは? A一つは、学校におけるこころの教育を充実させていくこと。もう一つは、道徳の教育を地域の方々に公開して、地域や保護者の考えを参考にしていくこと。

Q昨年の実施状況を見ると、かなり学校格差があると思われる。この授業に対する周知の方法、当日の地域の方の参加人数、公開授業後に行われる懇談会の持ち方など、現状(の課題)をどう把握し、来年度に生かすのか?

A来年度は、すべての学級で行われるように指導していく。次回に向けては可能な限り保護者や多くの地域の方々に案内をしていくよう、学校に指導していく。

*他に、教育基盤整備、学校図書館整理員の派遣、「相対評価」から「絶対評価」に変わる評価制度、家庭教育の振興について質問。

Qこの講座のねらいとは? A一つは、学校におけるこころの教育を充実させていくこと。もう一つは、道徳の教育を地域の方々に公開して、地域や保護者の考えを参考にしていくこと。

Q昨年の実施状況を見ると、かなり学校格差があると思われる。この授業に対する周知の方法、当日の地域の方の参加人数、公開授業後に行われる懇談会の持ち方など、現状(の課題)をどう把握し、来年度に生かすのか?

A来年度は、すべての学級で行われるように指導していく。次回に向けては可能な限り保護者や多くの地域の方々に案内をしていくよう、学校に指導していく。

*他に、教育基盤整備、学校図書館整理員の派遣、「相対評価」から「絶対評価」に変わる評価制度、家庭教育の振興について質問。

Qこの講座のねらいとは? A一つは、学校におけるこころの教育を充実させていくこと。もう一つは、道徳の教育を地域の方々に公開して、地域や保護者の考えを参考にしていくこと。

Q昨年の実施状況を見ると、かなり学校格差があると思われる。この授業に対する周知の方法、当日の地域の方の参加人数、公開授業後に行われる懇談会の持ち方など、現状(の課題)をどう把握し、来年度に生かすのか?

予算委員会とは
新宿区議会第1回定例会の中で毎年行われる。今年は3月1日から14日まで、実質10日間の審議で来年度の予算が決められた。委員は、44名の区議会議員のうち、議長、副議長を除く、半数の21名。
尚、予算の定義とは次の通り。
・予算は、行政がどのような形で行われるかを具体的に示した1年間の計画書。
・予算は、区民に1年間の施策を伝え、納税者の税金がどのように使われ、その効果が区民に還元されるかを判断する基礎となるもの。
・予算は、民主的な財政運営をはかる手段として、執行機関の独善的な財政執行を防止するため、議会の関与を認め、民意を反映させ、区民の福祉向上のためのもの。